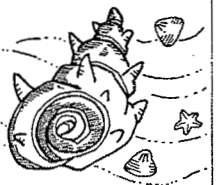


発行
西郷町城北町
隠岐病院長



夏の皮膚病



鳥取大学医学部皮膚科教授 三原基之



皮膚疾患の受診者数は他科と異なり季節的変動が極めて大きく、特に夏は秋に比べ一・五倍位に達する。これは夏に集中的発病する皮膚疾患がある証拠でもある。以下、それらの代表的疾患を挙げ、簡単に極めて易しくお話ししましょう。

一、虫さされ(虫刺症・昆虫刺傷)

蚊あるいはぶと(ぶよ)に刺された時は本人も直ぐ気付く。しかし、毛虫の毛はほとんど気付かれることはない。それでも草刈や庭木をいじった後などは本人も何となく思い当たるものであるが、毛虫の付いた青木の下や風で飛んできた毛虫の毛を思い浮かべる人はまずいない。肌着が触れる部位に大変痒いぶ

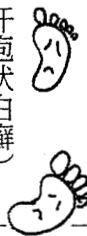
二、くらげ刺傷



くらげには毒針のついた細胞があり、この細胞は特に足に多い。この細胞が皮膚に触れると毒針から毒液が皮膚に注入され皮膚に激しい炎症が惹き起こされる。これが、くらげ刺傷である。刺された時は慌てずに、刺された所を海水で流すようにし

三、水虫(足白癬・汗疱状白癬)

水虫の原因は白癬菌というかびの一種である。水虫は、このかびが皮膚の最表面の角質という“あか”や、“ふけ”になる所に住みつき、角層を作っている細胞を食べながら増えている状態である。梅雨時期は物がよく腐るが、これは温度と湿度の両方が高く、物を腐らせるかびが増えるのに好都合であるからである。本来、足の裏は汗をよくかく所で、暑い夏では靴の中は梅雨と同じ状態となり、白癬菌にはとっておきの場所となる。治療の原則はまず、足を乾燥させることである。水虫によく効く塗り薬は沢山あるが、二週間も塗ればかなりよくなる。肝心なことは一見治ったようにきれいになった後でも最低三ヶ月間は塗る必要がある、これを怠ると必ずといってよいほど再発す



て洗い、決して、ぬぐい取るうとして手でこすらないことである。こすればこするほどこの細胞を周囲の皮膚にこすりつけるからである。治療は、刺された後、なるべく早く最も強力なステロイド軟膏を塗ることである。そうすればひどくならず治まることが多い。

四、とびひ(伝染性膿痂疹)

この病気は子供の移る皮膚病の代表である。家族の一人がこの病気にかかると、小さい子供がいればあつという間に子供全員にひろがる。原因は化膿を惹き起こす“ぶどう球菌”というばい菌である。この菌が皮膚に付いて増え、皮膚は赤くなり、あるいは水ぶくれができ、やがて浅い傷となる。治療は素人療法は禁物で、すぐに専門医に診てもらった方が早く治るし経済的にも安くてすむ。この皮膚病はたとえ傷があっても風呂に入り、身体を清潔にすることが治療上大切である。風呂上がりに消毒し、塗り薬を塗るのは当然のことである。

新コーナー

わたしの趣味

トールペインティングの巻



初めまして。私は薬剤師の安野由起と申します。今回「私の趣味」について少しお話ししたいと思います。が、その前に自己紹介をさせていただきます。出身は出雲市で、島根県立中央病院で働いていましたが、主人の転勤で、平成九年四月から都方村におりました。そして、平成十年五月から主人と共に隠岐病院で働いております。隠岐へ来て驚いた事は、まず、島が大きかったこと。言葉が全然違ったこと・等色々ありますが、皆様の親切に支えられて日々過ごしております。

さて、本題に入りましょう。隠岐に来たからには、是非マリンスポーツなどを楽しみたいと思っていたのですが、知人に誘われ始めたのは、アウトドアとは無縁な「トールペインティング」でした。「それって何？」って思ったあなた！トールとは、もともと絵を描いたブリキ製品

のことで（フランス語）、ヨーロッパで生まれ、移民とともにアメリカへ渡って、木製品や家具、布などのあらゆる素材に絵を描くことをトールペインティングといいます。と、偉そうに書きましたが、これは今だから言えることで、その時は、私も「？」でした。特に絵が苦手な私には、絶対に向かない趣味だと思っております。



完成したときがたまらないの♡

（筆者後列左）

だが、「下書きを写して、色を塗るだけらしいよ」と言われて「それならば…」と始めてみました。が、「塗るだけ」なんてとんでもない！先生の描かれたおもしろいようなリングは毒リンゴのようになり、かわいい天使はおばさんのように…、思ったようにはならず、落ち込む毎日でした。しかし、小物入れやタオル掛けなど、実際に使えるものができると嬉しくて、今まで続けています。現在は、病院の仲間と月二回、仕事の後や休日にレッスンに行っていますが、他の職業の方や主婦の方ともおしゃべりしながらなので、あつとやう間に二時間が過ぎてしまいます。花ばかり描く人、かわいい絵の好きな人、大きいものばかり作る人、大きいものに小さい絵ばかり描く人（私を含む）と、皆それぞれの好みがあって、他の人の作品を見るのも楽しみのひとつです。

最近では、お店の看板や、ウエルカムボードなどで隠岐でも目にする機会が増えていきますので、皆さんもちょっと周りを気にしてみてください。もちろんそれはプロの方の作品ですので、私とは大違いですが、これからは、少しでも上達するように描いていこうと思っております。

「表紙」の 医師紹介

先生は簸川郡湖陵町の出身で昭和三十八年に鳥取大学医学部を卒業され、今日まで米国留学を除いて、同大学医学部で皮膚科学を研究治療されています。この間、昭和四十九年に助教授、平成六年に教授に就任されました。隠岐病院での診察は、昭和四十年代に先生の同期生で内科に勤務されていた先生にお願いされ、間もなく今日のように毎週来ていただくことになりました。

現在は、日本皮膚科学会の評議員等を歴任されるご多忙の中、隠岐の患者さんの治療にあたっていただいております。

平成11年7月1日から、平成11年度の臨時特例措置として老人保健制度加入者の皆さんは、医療機関等の窓口で薬剤一部負担金を支払う必要がなくなります。

詳しくは医事課受付係まで

職場紹介

リハビリ編



こんにちは。今回は私たちの職場からお届けします。

最近「リハビリテーション」という言葉が頻繁に取り沙汰され、注目を浴びるようになった医療分野ですが、どのようなことを行っているのか皆さん知っていますか？

「リハビリテーション」という言葉の語源はhabilis（適した）というラテン語から出た、habilitate という動詞にre（再び）という接頭語がついて出来上がった用語です。意味としては「①一度失った位階・特権・財産などを回復すること、②一度失った名誉を取り返すこと、③良好な状態に帰すこと」と訳すことができます。

ですからリハビリテーションの対象は患者さんだけに限定されたものではありません。もちろん患者さんの機能また能力を最大限に引き出すことも重要なリハビリの目的ですが、患者さんを取り巻く環境（介助者、家屋、家族など）への援助も対象となる実に幅広く且つ奥の深い分野です。



元気元気



私たちと一緒に頑張りましょう！

いまだ大多数の人が「痛そう」とか「訓練が辛そう」といった印象を持っているのではないかと思います。そんな印象を反映してか、患者さんより時々「リハビリは痛いことすっかの」と尋ねられることがあります。決してそんなことはありません。優しく・親切・丁寧をモットーに治療に励んでいます（時に怒鳴り声が訓練室に木霊します）。

本年度四月より新たに作業療法士一名が加わり、スタッフ総勢四名と益々活気づいてきました。患者さんの人数に対し、訓練室が狭かったりといくつか問題がありますが、今後も質の高いリハビリを目指し頑張りますので宜しくお願いします。

二一六号室
患者一同より

みんなの声

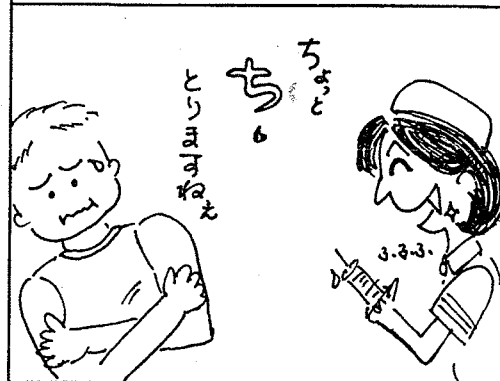


上記の「みんなの声」は、先日、七月七日の七夕食のメッセージカードに書かれていたものです。給食係一同、皆さんに喜んでもらえる食事をつくれるよう、これからも頑張ります。有り難うございました。

—給食係—



夏の吸血婦



七夕特集



今年も恒例の『七夕飾り』が病院エシベーター前のロビーに飾られました。病氣・けがの回復、生まれてくる赤ちゃんへ、など笹の葉はたくさん願ひ事で重そうに垂れていました。

短冊にこめられた皆さんの願ひがかないますように。読者の皆さんの健康を願って...

編集後記

世間のみんなが恐れていた、一九九九年七月の月が何事もなく終わりました。ノストラダムスは草葉の陰でどんな思いをしているのでしょうか？もうすぐお盆なので、迎え団子で迎えて聞いてみたいなんて思っています。

▼著書で一世を風靡したG氏は、「あれは嘘です」なんていうニュアンスの会見をスポーツ紙上でしたとか。あれほどあおっておいて、そりゃないよという感じがすが...。▼環境破壊とムダ使いが著しい昨今、海も山も川も空も汚れてしましました。私たち人類に打ち鳴らす警鐘としてはもってこいだったのかもしれない。

▼暑い夏の夜には、風鈴の音を聞きながら、うちわ片手に縁側で星や螢を愛でる。そんな昔ながらの生活が一番健康に良いのかもしれない。みんなが集うこの時期、「隠岐だからこそ」の夏の夜を楽しんでみたいと思いませんか？

ノストラダムスにそっと手を合わせて...

でも世紀末が怖い M